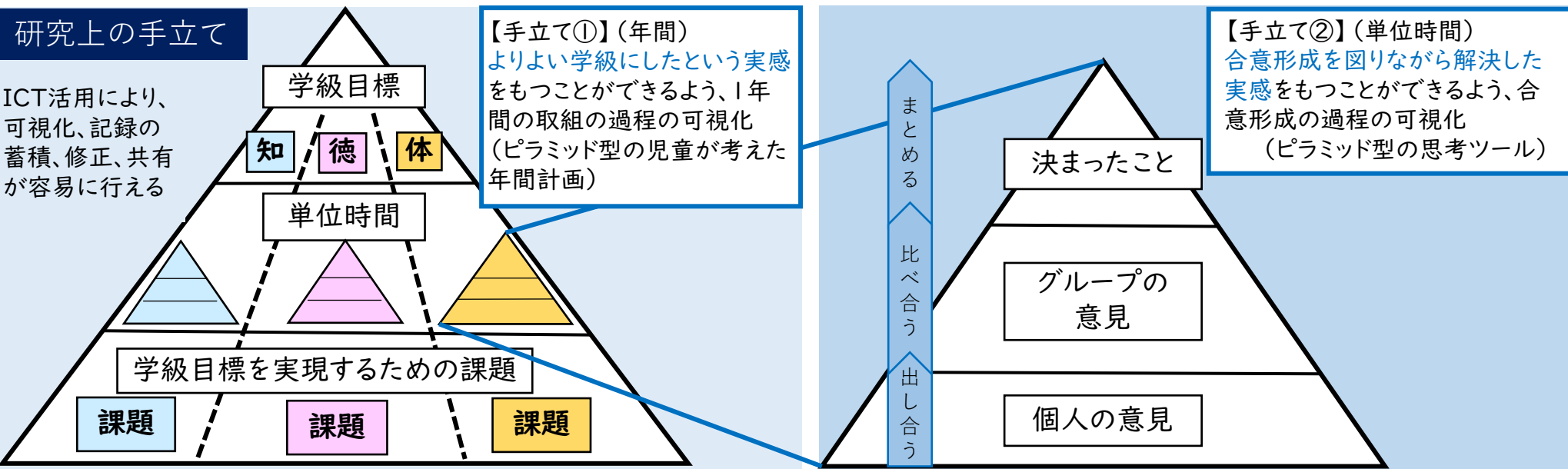


「自分たちで学級をよりよくした」という実感をもつ児童の育成

—ICT活用による過程の可視化を通して—

特別研修員 特別活動 松本 訓亘（小学校教諭）



実践

【児童の様子】 意見を出さない児童が多く、学級をよりよくしていこうという必要感をあまり感じていないからではないか。

【教師の願い】 単位時間における課題解決をした実感を積み重ね、自分たちで学級をよりよくしたという実感をもたせたい。

年度始め

事前

つかむ

出し合う

比べ合う

まとめる

事後

単位時間

繰り返し

年度末

5年3組 学級目標
学習をまじめに取り組むクラス
元気で楽しく協力できるクラス
友達と協力し合いできないことも
何度も取り組むクラス

学級目標
「友達と協力し合いできないことも何度も取り組むクラス」
（「体」の観点における学級目標）

課題
運動が苦手な人が多いから、運動会で協力する方法を考えよう。
（学級目標を実現するための課題）

議題
議題は年間計画を見て決めよう。 ※計画委員
「運動会に向けて具体的な練習方法を決めよう。」
（児童が考えた年間計画を基にした議題の作成）

決まったこと
それぞれの意見のよいところを合わせた方が、よりよい練習になると思うよ。
「休み時間に鬼ごっこを通して走る練習をする。」

実践
みんなで話し合っただけで決まったことに納得したので、苦手だけど協力して練習しよう。
苦手な運動会だったけど、みんなで協力したから最高の運動会になったよ。
（合意形成を図りながら解決した実感）

1年間の振り返り
1年間でこんなに話し合いを積み重ねてきたんだな。自分たちの課題を自分たちで話し合っただけで、解決してきたぞ。これで学級目標を達成でき、最高の学級になったぞ。
（自分たちでよりよい学級にした実感）

議題

20分休み、昼休みに苦手な種目の練習
放課後 できる暇をやる

お手本の動画を見る
家で練習

1班

20分休みに鬼ごっこや陸上教室をする
みんな 二十分休みに、苦手なものを練習する
鬼ごっこにさんかする

走る練習とソーラン節を完璧に覚える
速い人にコツを教わる

苦手なところを、練習する
首段やる遊びの中で練習をする

成果

年間の取組の過程と、単位時間における合意形成の過程の可視化により、合意形成を図りながら課題解決をした実感を積み重ね、決まったことに対して積極的に取り組む姿や、自分たちで学級をよりよくしたという発言が多く見られるようになった。

課題

年度当初に、児童が年間計画を作成する際に、年間行事計画等と関連付けると更によい。